

【 JAWS-UG Sales #4 】

印象的なスライドで振り返る re:Invent2025におけるAWSの戦略

2025年12月16日

SCSK株式会社 木澤 朋隆



JAWS-UG
AWS User Group - Japan

■ 自己紹介



名前 : 木澤 朋隆 (きざわ ともたか)

所属 : SCSK株式会社

主な表彰:

AWS Ambassador (2021~)

Japan AWS Top Engineer (2022~)

Japan AWS All Certifications Engineer (2022~)

AWS Community Builder (2023~)



第4740号

■ 私、実は マーケティング/プロモーションロール です

- 2020年よりAWS部署に異動、2022年よりマーケティング/プロモーション専任
- AWS Summit Japanの出展リーダー担当 (2024,2025)



AI革命 進行中



■ AIを制する者が霸権を握る？

- 30年前には IT革命(インターネット革命)～ITバブルが発生
- 現在のIT霸権を握る企業は、概ねその頃に創業

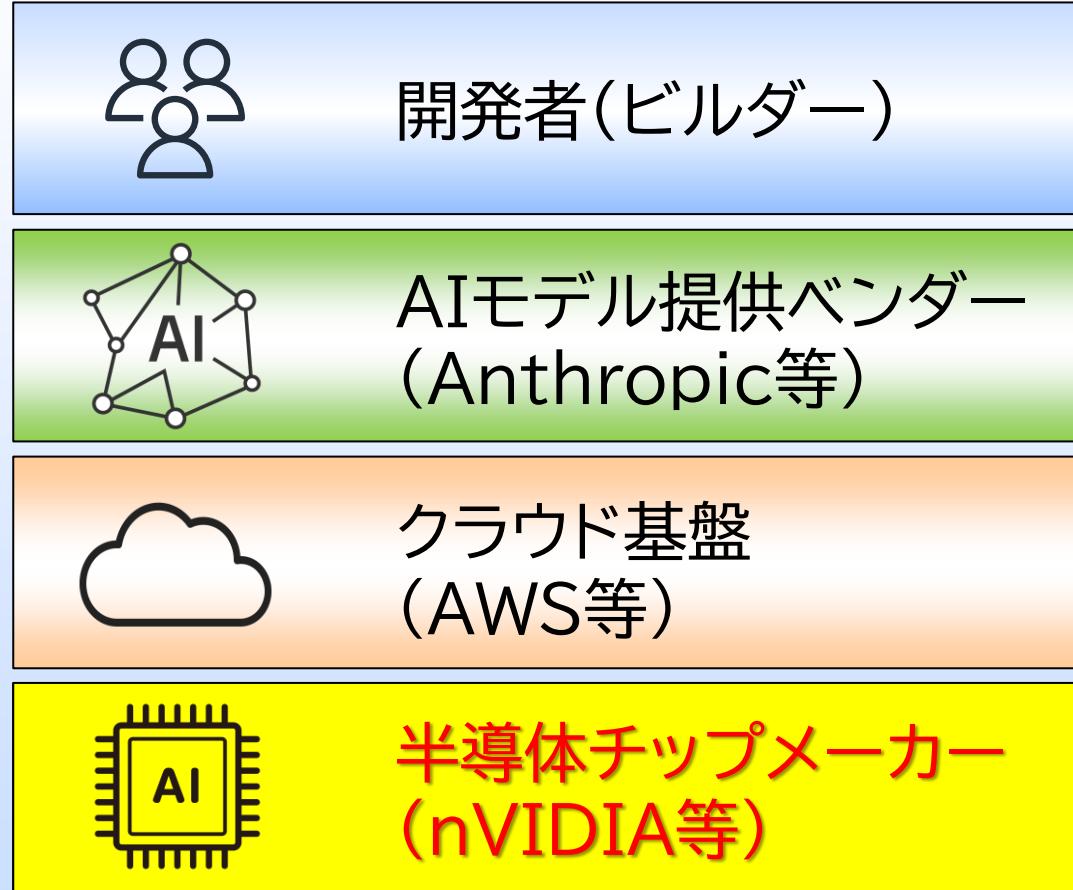
amazon 1994創業

Google 1998創業

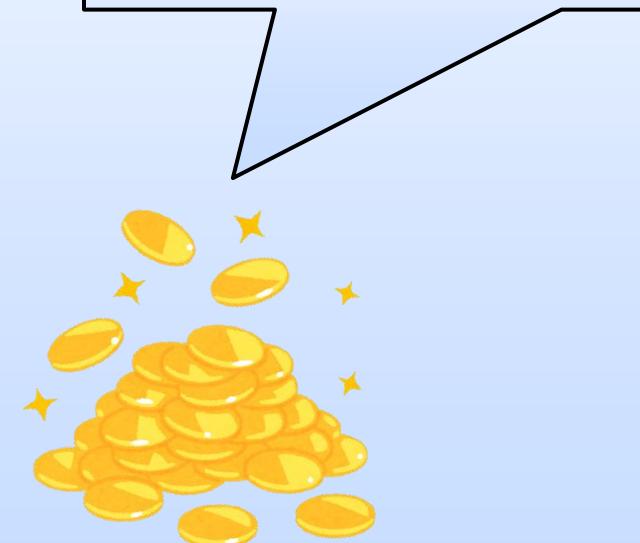
Rakuten 1997創業

- 今後数十年の霸権を握る企業が現われる？(と、投資家が思って投機マネーが…)

■ AIにおける業界構造



チップメーカー(nVIDIA)に富(利益)が集中する歪な構造



■ データセンターは電力確保の争奪戦

- AI利用の増加に伴い、2030年までにデータセンターの電力需要が2倍になると推定されている
- 米国では電力確保のため、原発の新設も続く

Gartner、データセンターの電力需要は 2025年に16%増加し、2030年までに2倍 になるとの予測を発表

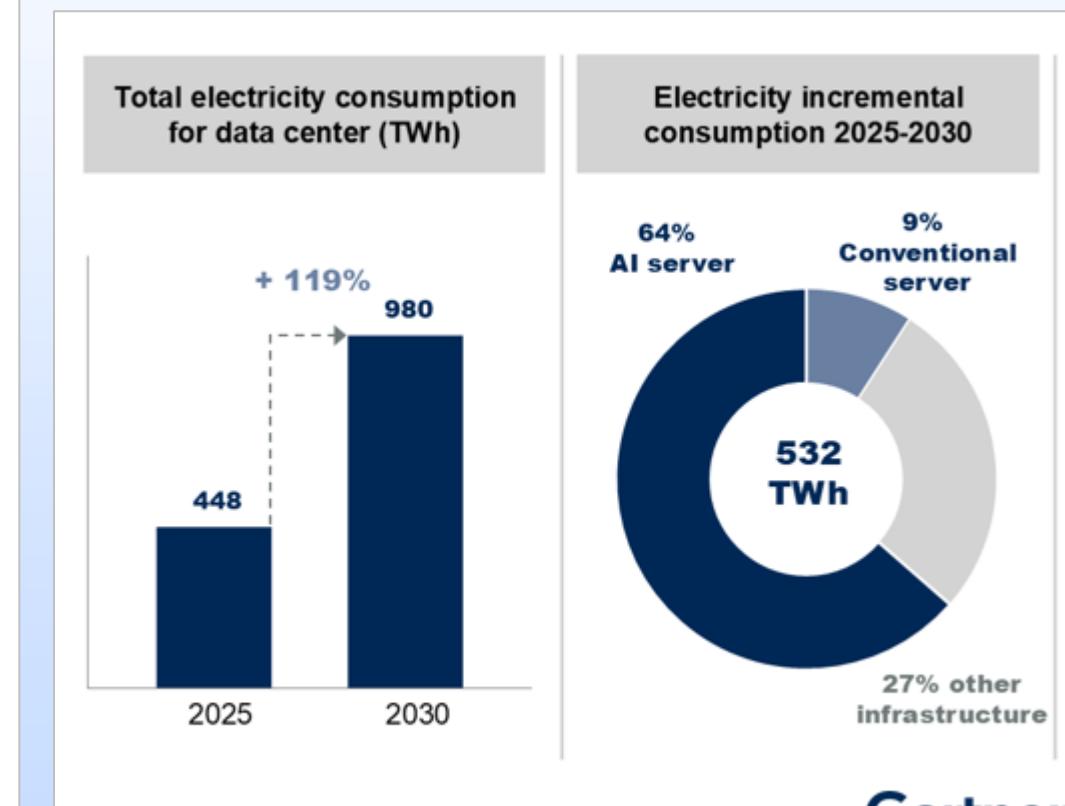
- ・データセンターの電力消費量は2025年の448テラワット時(TWh)から2030年には980TWhに増加
- ・2030年までに、AI最適化サーバーの導入がデータセンターの電力消費の44%を占める見込み

ビジネスおよびテクノロジのインサイトを提供する企業であるGartner, Inc.は、世界のデータセンターの電力需要は2025年に16%増加し、2030年までに2倍になるとの見通しを発表しました。

Gartnerのアナリストは、世界のデータセンターの電力消費量が2025年の448テラワット時(TWh)から2030年には980TWhに増加すると予測しています。

リサーチディレクターのリンラン・ワン ([Linglan Wang](#)) は次のように述べています。「従来型サーバーや周辺インフラストラクチャもデータセンター全体の電力消費に寄与していますが、AI最適化サーバーの急速な普及がデータセンターの電力消費の増大を加速させています。AI最適化サーバーの電力消費は、2025年の93TWhから2030年には432TWhへと、ほぼ5倍に増加する見込みです」

2025年には、AI最適化サーバーがデータセンター全体の電力使用量の21%を占め、2030年には44%に達すると予測されています。2030年には、データセンターの追加電力需要の64%をAI最適化サーバーが占めることになります(図1参照)。



AWSが提供するAIインフラのアップデート

■ AWS自社開発のAIインフラ

- 初の3nmプロセスである、Trainium3プロセッサ
またそれを144基搭載した、EC2 Trn3 UltraServersを発表



■ 本発表から読み解くAWSの戦略

- Trainium3プロセッサ ⇒ Trainium2と比較し、性能2倍、電力効率4倍。推論にも利用可能
- Trn3 UltraServers ⇒ メガワットあたりのトークン数5倍

ポイント①

自社チップを開発していること

安全保障の観点(nVIDIA社に生殺与奪の権を握らせない)

ポイント②

AWSが提供するAIハードウェアの推しは「コスパ」

データセンター/電力の逼迫が予想される中では現実解
ASICベースなので元々電力効率は高い



- AWSは 大手AIモデルベンダーの基盤として利用されている + 一般開発者へのメッセージにも

AIエージェントのエコシステム拡大

■ Amazon Bedrock AgentCoreのサービス拡充

- 現在AWSのイチオシサービスと言って差し支えない。
今年7月の発表、10月のGA以降、急激に利用拡大が進んでいる。
- AIエージェントを開発し、動かす最適な基盤であるとAWSは宣言している。



■ AIエージェント関連の主なアップデート

詳細は割愛…

■ AIエージェントの統制

- ◆ Policy in Amazon Bedrock AgentCore
- ◆ Amazon Bedrock AgentCore – Evaluations

■ Frontier Agent群

- ◆ Kiro Autonomous Agent
- ◆ AWS Security Agent
- ◆ AWS DevOps Agent

■ ワークショップに AIエージェント活用ユースケースが多数

- ワークショップにて、AIエージェント活用ユースケースが多数
- 私が参加した AIエージェント関連ワークショップからピックアップ

[COP403-R] AIエージェントによるクラウド運用の自動化

障害時の一時切り分け、AIによる障害原因の分析、復旧まで
全てAIエージェント経由でやってもらう

[PEX315] AWS AI を活用したインシデント対応による インテリジェントなセキュリティ運用

自然言語を使ってAIエージェントに「重要な発見を教えて」
「どう解決できるか」を指示する。
「解決してください」と指示すると、エージェントが問題を解決する。
SecurityHubのデータを取得して、リアルタイムに回答



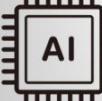
具体的な
運用改善に
つながる
アイディア

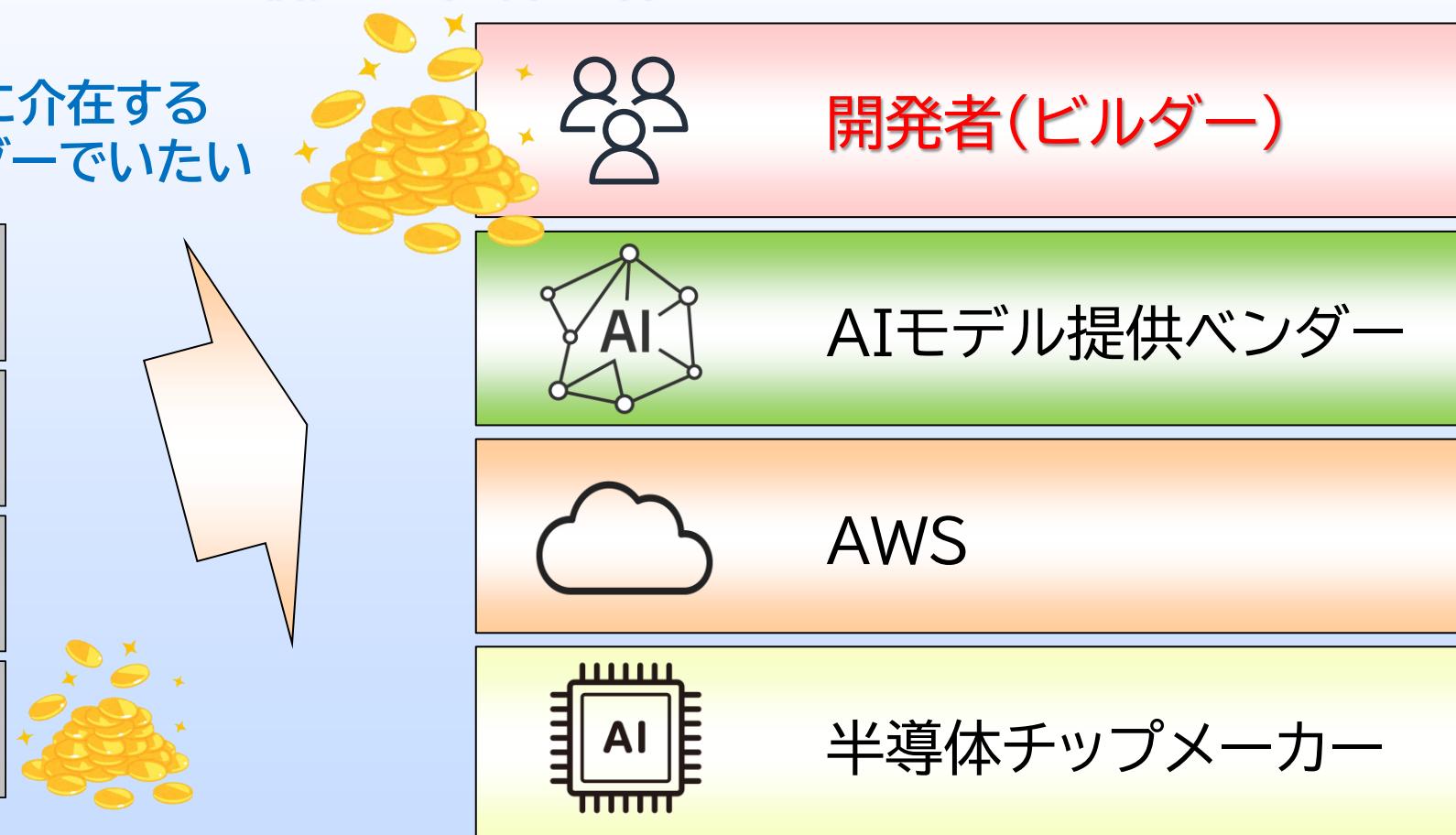
まとめ

■ AWSが考えるエコシステム(私の理解)

- 「コスパの良い」インフラ基盤の提供 と「使い勝手の良い」AIエージェント周辺サービスの拡充 で
- 歪な業界構造を逆転させて**ビルダーが儲かる世界を作りたい！**

そしてAWSはエコシステムに介在することで引き続き業界のリーダーでいたい

	開発者(ビルダー)
	AIモデル提供ベンダー (Anthropic等)
	クラウド基盤 (AWS等)
	半導体チップメーカー (nVIDIA等)



■ ありがとうございました！

- 来年も機会あれば re:Invent に参加したいですね！
- 今後ともよろしくお願いします。

